

ひよし川柳会

赤とんぼ素敵な秋を連れて来る

米子 達雄

赤とんぼ追う子も見えぬ過疎の街

伊勢本 恵

迷走台風コンピューターを悩ませる

宮川 柳酔

ノーベル賞台風だけは手が出ない

熊本 忠真

人生に神のいたずら多すぎる

水野すみこ

しめくくる人生汚点つけたまま

加藤 桂子

歩で終る人生も良し丸い背な

若宮 賢敬

美沼里水脈復帰生き延びる

宇都宮 忍

脈ありと思っていたに待ちぼうけ

川添 忠昭

流れ雲に人生観を教えられ

渡辺 光男

人脈の良否人生左右する

山本 雅之

わがまち自慢百景「乳神様」



延川部落(三島地区)の山中にある古奇岩「乳神様」。その岩の形から、「出産後、母乳に恵まれずに困っていた人がお参りすると、母乳が出るようになった」と言い伝えられています。付近には奇岩ができるような谷川もないことから、先人たちがどこからか運んできたのか、元々その場所にそのような奇岩があったのか…、謎は深まるばかりです。

道の駅日吉夢産地に設置している鬼のモニュメント「柚鬼媛」が、幼い鬼王丸を抱く母親像の姿となった謂れの一つでもある「乳神様」。未だ謎に包まれた古奇岩をぜひ一度、ご覧ください。

鬼北の足跡を辿る【第4回】

「本坊建物以前の姿―鍛冶工房跡―」

発掘調査、整備中の国史跡等妙寺旧境内にスポットを当て、皆さんにぜひ知っていただいた魅力、見どころを紹介していきます。「鬼北の足跡を辿る」。今回は、寺院の中核と伝わる平坦部Aで検出された鍛冶工房跡を取り上げます。

本坊建物基礎盤面下層(つまり、本坊建物が建築される前段階)より、三基の鍛冶炉およびそれに伴う掘立柱による建屋を構えた鍛冶工房跡が検出されました。建屋の規模は南北5間×東西4間と、工房跡としては立派かつ、遺構の残存状態も良好で、中世町屋の鍛冶屋を凌ぐほどです。同時期の鍛冶炉など鍛冶関連の遺構・遺物は多数報告例がありますが、このように鍛冶炉と建屋が伴って検出された例は全国的にも希少で、大変珍しいものです。

また、鍛冶工房跡の機能していた時期は出土した陶磁器の年代観や炭化材の放射性炭素年代測定結果から、15世紀中頃から後半の可能性が高く、新本堂建築の際に使用する和釘や工具を製造、加工していたと考えられます。さらに、出土した鉄滓製品として入ってきた鉄塊に付着していた不純物で、鍛冶操業の

結果除去され、遺跡に残されたものの理化学的な分析により、当地にもたらされた鉄の生産地の特定や流通経路を解明できる可能性があり、今後の調査が期待されます。

現在、鬼北町歴史民俗資料館にて、史跡指定10周年記念「国史跡等妙寺旧境内と奈良山霊場遺跡」山寺から山岳霊場へ」を12月23日まで開催中です。等妙寺旧境内の発掘調査はもちろん、近年調査を実施している霊場遺跡など、最新の情報を多数展示しています。考古学や宗教学、民俗学など多角的アプローチにより導かれる山寺から山岳霊場へと転換する等妙寺旧境内をぜひご覧ください。皆さんの来場をお待ちしています。



鍛冶炉検出状況 (平成28年度撮影)